

花と緑のネットワーク通信

街路ます花壇づくりあれこれ～「ときめき俱楽部」の活動から～

一口に街路ます花壇といつても、大きさや形、街路樹が植えてあるかどうかなど条件はさまざまです。登録団体「ときめき俱楽部」では、街路樹の植えてあります花壇10面を維持管理しています。

まずは土づくりから

5月の花苗を植えるときと、10月の花壇の片付けをして球根類やパンジー・ビオラを植えるとき、植物を抜いたあとに1ますにつき腐葉土1袋を混ぜて土づくりをします。歩道での作業なので、通行の邪魔にならないよう袋入り(14ℓ)の腐葉土を各ますに配置して作業します。



袋入りの腐葉土

花苗が成長するまで



○の所にアイビーを植えています

後々株が大きくなることを考えて、1ます30株程度の苗を植えましたが「地面が目立つ」とのご意見が。ます花壇は上から見るために、それぞれの株が成長するまでは空いている隙間の土の色が気になることがあるようです。そこで、グラウンドカバーになり、他の苗が成長しても邪魔にならないアイビーを補植しました。



つるが伸びて地面を隠します

花壇におススメの植物

観葉植物など主に鉢植えで育てる植物も花壇で活躍できます。

オリヅルランは斑入りのものだとアクセントになります。また、秋の片づけ時に掘り上げて春まで鉢植えで家の中で育てれば、子株がとれますので来シーズンに使うことができます。ゼラニウムは葉っぱの形がかわいく、花が咲いていない時でも花壇のワンポイントになります。

(タウンガーデナー芭月さん)



花壇に植えたゼラニウム



花壇の中央と街路樹の両横に植えたオリヅルランでアクセントをつけました

YouTube公開中



登録団体の花壇をYoutube動画で配信しています。

今年度、取材に伺った団体の花壇をYouTubeで公開しています。ぜひご視聴ください。事務局で編集をしていますので、1年に数回の紹介となります。今後取材に伺う際は、動画撮影にご協力いただけたと幸いです。

さっぽろ花と緑のネットワーク YouTube チャンネル
https://www.youtube.com/channel/UCwlPGaAtbrz5_mt2C-dOKpA



Information

さっぽろ花と緑のネットワーク登録状況 2021年9月30日現在

さっぽろタウンガーデナー (314名)						
中央区	54名	北 区	41名	東 区	39名	白石区 26名
厚別区	21名	豊平区	35名	清田区	13名	南 区 23名
西 区	25名	手稲区	26名	その他	11名	

花と緑のボランティア団体 (全34団体)

編集後記

今シーズンも取材にご協力いただき、ありがとうございました。冬の間も技術講師派遣を行っています。コロナ禍で活動を自粛されていた団体の方々もご活用ください。(武田可)

久しぶりの講習会で、コンテナへの植え込み実習ができました。好きなことでつながる仲間との時間は宝物ですね。ご参加ありがとうございました。(齋藤)

新たに仲間に
なりました!
新規TG 3名

タネの交換会を計画中です

冬期(1月から3月の間)にタネの交換会を開催する予定です。参加希望の方は、ご準備と種の保管をお願い致します。

*新型コロナウイルスの感染が拡大した場合は開催を中止いたします。ご了承ください。

発行・編集

さっぽろ花と緑のネットワーク事務局

札幌市中央区北1条東1丁目ニューワンビル4階

(公財)札幌市公園緑化協会内

WEB: <http://www.sapporo-park.or.jp/flowers/>

TEL: 011-251-3309 FAX: 011-211-2577

E-mail: flowers@sapporo-park.or.jp

主催 札幌市建設局みどりの推進部



日ごと、秋の気配が色濃くなっています。花壇の冬支度は終わりましたか。今回は、さっぽろ花と緑のネットワークフォーラム2021、寄せ植え講習会などのご報告、街路ます花壇の活用についてもご紹介しています。



さっぽろ花と緑のまちづくりフォーラム 2021を開催しました



10月3日、第39回全国都市緑化北海道フェア開催記念 さっぽろ花と緑のまちづくりフォーラム2021を開催しました。当初は、JRタワー「そらのガーデン」に隣接したプラニスホールで開催予定でしたが、新型コロナウイルスの影響で、オンラインのライブ配信で開催しました。



第1部は、上野ファーム オーナーガーデナーの上野砂由紀さんに「～北海道の新たな魅力～新しい時代の庭づくり」をテーマにご講演いただきました。「そらのガーデン」や来年度の都市緑化北海道フェアのメイン会場「はなふる」のガーデンエリアのひとつ「グラベルガーデン」などの作品事例を交えながら、宿根草ガーデンの魅力や北国・北海道だからこそできる庭づくりに挑戦されている様子が紹介されました。最後の「庭をつくるということは、植物を育てる人材を育てることが大切である」という話がとても印象的でした。上野さんが監修しているガーデンは北海道内にいくつもありますが、はじめに、どのような管理体制で手入れが可能かを確認するそうです。「良いガーデンには、必ずすごいガーデナーがいる。」という上野さん、一目見ただけでどれだけ手間がか

けられているか分かるのは、長年の経験の賜物です。造るだけではなく、その後の管理を第一に、条件に合ったガーデンづくりに取り組まれているというお話を、ご自宅や活動場所のガーデンを見直す際にも参考になりそうな気がしました。

第2部では、昨年のフォーラムに続いて北海道大学准教授の愛甲哲也さんをコーディネーターに、パネリストとして上野さん、恵庭市と札幌市で花と緑のまちづくりに関わっている内倉真裕美さん、上山謙太郎さん、熊谷ゆきさん、新谷克教さんをお迎えし、パネルディスカッションを行いました。来年恵庭市で行われる都市緑化フェアをきっかけに、北海道各地にあるガーデン、公園や公共の場、個人宅の庭といったいろいろな規模の活動が繋がってひとつになることができればと展望が語られ、みんなでまちづくりを楽しみましょうと呼びかけられました。都市緑化フェアに向けて、内倉さんから「来年はヒマワリなどの黄色い花を植えて北海道が一つになろう」という楽しいお知らせがありました。



フォーラムの動画はこちらから

さっぽろ花と緑のまちづくりフォーラム 2021
https://youtu.be/5JRT0_kjM



※詳しくは同封のチラシをご覧ください。

さっぽろ花と緑のネットワークイベント予告

宿根草花壇のガーデンデザイン講習会 (中級～上級者向け・3回連続講座)

①11月25日(木)、②12月2日(木)、③12月16日(木) 13:30～15:30

活動場所の花壇づくりでお困りの事はありますか。これから花壇に宿根草を取り入れたい方や宿根草花壇の管理で悩まれている方、花壇をレベルアップしたい方におすすめの講座です。持続可能な宿根草花壇づくりを目指しましょう。

講 師: 高林 初氏 (イコロの森)

場 所: 市民交流プラザ SCARTS スタジオ2

参 加 費: 無料 ※3回すべて参加できる方を優先します

定 員: 10名 (抽選)

動画配信: 後日配信あり (要申込)

今シーズンも間もなく終わります。花と緑のボランティア団体やタウンガーデナーの活動の近況をお伝えします。

花と緑のボランティア団体からのお便り



秋から春まで楽しめる寄せ植えづくりを開催しました！



農試公園で秋から春まで楽しめる寄せ植えづくりを開催し、講師は事務局の齋藤が務めました。12名の参加者があり、3名1組になって、それぞれ1つのコンテナに全部で7種類の球根を仕込み、ビオラの苗を植えました。淡いパステルカラーのグラデーションが美しいコンテナの寄せ植えが完成しました。コンテナをつなげてひとかたまりと考えてデザインするとボリュームが出ます。また、デザインのバリエーションも拡がります。来年に向けて、活動場所でも実践してはいかがでしょうか。

参加者の声 久しぶりに皆さんにお会いして講習会が開催でき、スタッフも思わず笑顔になりました。参加者の方の感想をご紹介します。

また、このような講習会に参加したい。

交流の機会をもっと増やしてほしい。

大変勉強になった。

実習が楽しかった。

新しく得た知識を活用したい。



タネだんごサポーターがお手伝いした花壇で花が咲きました！

豊平区 7月に幌南幼稚園、月寒公園のボランティアさんと一緒に作った花壇の花が咲きました。マリーゴールドをまとめてよく見ると、星のかたちになっています。子どもも見て楽しめる、開拓使のシンボルである星型は北海道にピッタリです。

知っ得！アドバイス

採取したタネの保存はどうされていますか。
タネは、気温が暖かい9月中旬にできたものが実入りが良く、発芽率が高まります。
採取した種は、1週間ほど新聞紙などの上に広げて、乾燥させてから種だけを集めて密閉できる袋に入れ、冷蔵庫に保管しておきましょう。

多肉植物を育てませんか？

白石区

十二の巻など

登録団体「東札幌病院ボランティアグループ いづみ」で育てた多肉植物を提供します。11月17日10時に東札幌病院まで来れる方限定で苗を配布いたします。ご希望の方は事務局までご連絡ください。



札幌市役所本庁舎前コンテナガーデンづくり

公共の場での花壇づくり体験活動 厳しい夏を超えて、たくさんの花が咲きました。



今シーズンも5つのコンテナを担当しました。夏の暑すぎた気温の影響か、いつもたくさん咲く植物の成長が思わしくなく、花つきもよくないのでやむを得ずいくつかの株を抜いて補植を行いました。ガーデンダリア、ナデシコ、アスターなどが加わり、秋らしい色合いに変わりました。10月30日の片付けまでコンテナ全体のバランスを保ちながら咲き続けてくれることでしょう。



10月になり、やっと活動場所の地区センターが開館しましたが、花壇のお花は片付けを待つ状態。「それならば！」と花束を作つてセンターを利用する方にプレゼントしました。センターの管理事務所の方のお手伝いもあって、花束はあつという間にもらわれてゆきました。



大学村の森を守る会 小笠原さん

暑かった今年の夏、森の中にも異変が起こりました。山野草は生きているだけで精いっぱい。見かねて水やりをすると、小さな花を咲かせましたが、実った種が発芽するかどうかは期待できません。根ではびこるイワミツバには残念ながら影響がなく、青々と葉を茂らせていました。それを食べるキアゲハは助かったことでしょう。

今年は、森の中をウォーキングする方が増え、森はにぎわいました。おかげさまで2名の新規加入者がありました。



技術指導講師派遣のご紹介

秋から来春に楽しめる寄せ植え講習会

中央区

派遣先：認定NPO法人シーズネット

講 師：齋藤聰子（花と緑のネットワーク）

普段、大通公園で活動されているシーズネットさんからの依頼で、パンジーと球根の寄せ植え講習会を行いました。会場は大通公園の西6丁目野外ステージ。午前午後の2回に分けて、密を避けながらの開催となりました。春に球根から花が咲きだすのが楽しみですね。

技術指導講師派遣を利用しませんか？

登録団体または、さっぽろタウンガーデナーの活動場所に講師を派遣します。タウンガーデナーとしての申込みの場合、町内会や地域の花友など5人程度の集まりで派遣できますので、お気軽にご相談ください。なお、会場・道具・材料は各お申し込み者の皆様にご用意していただきます。



永山記念公園花壇づくり

厳しい暑さに耐えて、今年もシラカバの円形花壇にはたくさんのお花が咲きました。8月頃からは、昨年植えた三尺バーベナーのこぼれ種が生長し、花壇の彩りに華を添えてくれました。今年は、中央花壇にコスモス、アリッサム、パンジーのタネだんごも植えました。例年ない、少雨と高温が続く中での水やり、お疲れ様でした！



タネだんごから
コスモスが咲きました



円山動物園のゾウのふん堆肥を宿根草花壇と円形花壇に施しました。「どんなにおいかしら？」とこわごわ手に取りましたが、ほとんど無臭で、ふわふわとてもよさそうな感触です。ちょうどお散歩に来た近くの保育園のお子さんたちにも宣伝しました。土壤改良剤として優秀だと評判のたい肥の効果はいかほどでしょうか？

